

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立倉敷商業高等学校		
実践者等		齋藤 靖夫	実践日	令和4年7月14日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		数学・数学Ⅱ (数学Ⅰ データの分析 [課題学習])		
対象生徒 (学年等)		商業科2年		
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input checked="" type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		
実践の内容				
<p>【授業】</p> <p>データ分析の分野をすべて学習したまとめの課題学習として、自らデータを作成し、分析することで知識として身につけるだけでなく、活用できる知識にすることを目標とした。</p> <p>(1) 紙テープを1人20本ずつ10cmを目指して目分量で切る。</p> <p>(2) 実際のテープの長さを測り、1班8人ずつの記録を <u>スプレッドシート</u> に入力し共有する。</p> <p>(3) それぞれの班のヒストグラムや代表値などを <u>Jamboard</u> にまとめる。</p> <p>(4) <u>Jamboard</u> を利用して、それぞれの班の強みや弱みを分析して発表する。</p> <p>・分析の際には、<u>MAXHUB (電子黒板)</u> で <u>Jamboard</u> を表示し、代表者一人が意見をまとめる。その他の班員は手元の <u>Chromebook</u> でヒストグラムや代表値などを比較して、データを分析する。全員で1つの <u>Jamboard</u> で意見を出したりまとめたりすると、画面を切り替えたりしなければならいため、<u>MAXHUB</u> でまとめる役割と、分析をする役割を分けて話し合いをさせた。</p>				
<p>【本時と家庭学習との連動】</p> <p>実際にはできなかったが、事前に作業内容などを動画にしておき、見させておけば話し合いの時間や発表の時間を確保できたかもしれない。</p>				

